

記録：第 380 回海外邦人安全対策連絡協議会

3月11日、「第380回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。

1. 冒頭

(大使館総括公使)

ラマダンが開始して約一週間が経過した。一般的にこの時期が断食されている方々にとって、最も苦しい時期と言われており、昨年も運転手による事故が起きている。また、ラマダン中はテロが起こりやすい時期でもあることから、十分ご注意願いたい。

デモ関連について、プラボウォ政権が進める予算効率化の影響を受け、学生が中心となったデモが散見される。現在はラマダン中でデモは控えているが、ラマダン明けには更なるデモが起こる可能性があるため、注意願いたい。

2. 医療関連状況について

(大使館医務官)

個人的な印象として、昨年末頃から発熱や咳などの症状が長引く傾向が強い。引き続き体調管理には十分注意願いたい。

デング熱ワクチン (QDenga) について、インドネシア国内では既に接種可能であるが、今後日本でも発売する方針であるという報道があった。現時点ではまだ具体的な時期などは不明だが、情報として共有する。

3. 最近の政治・治安情勢

(大使館政務部 書記官)

昨今のテロ情勢も含め、ラマダン期間中のテロに関する注意喚起を行う。

現在、3月30日までラマダン月にあたり、ラマダン終了後には約3日間イード・アル・フィットルと呼ばれる、ラマダン明けのお祭りが行われる。イスラム教徒にとって聖なる月であるラマダンとイードの期間中は、一般的に宗教心が高まるとされ、世界的にはこれらの期間中に国際テロ組織やその支持者によるテロが多く発生しやすいとされており、過去には ISIL がラマダン月におけるテロを呼びかけたこともあった。2016年にはラマダン月最後の金曜日に、バングラデシュの首都ダッカで、外国人が多く集まるレストランを武装したイスラム過激派の集団が襲撃したことで、日本人含む外国人の方が犠牲になるという痛ましい事件が発生した。当国においては、治安当局による取り締まりや各種政策を行っており、2023年に引き続き、昨年2024年もテロ事件の発生はなかった。一方、2021年には345人、2022年には247人、2023年には147人、2024年には55人が、テロ攻撃を企てたなどとしてテロ関係容疑で警察に逮捕されており、引き続きテロを行おうとする人間が一定数警察に逮捕されていることから警戒が必要と考えている。当国は世俗主義

であり、市内で飲酒ができ、豚肉を提供する店があり、ヒジャブを着用していない女性が多く見受けられる等、日々の生活面で意識が希薄になりつつあるが、国民の約9割がムスリムであるということ、建国以来存在する、イスラム法に基づくイスラム国家を樹立したいという、インドネシア・イスラム国家という思想に基づく痛ましいテロが過去に発生しているということ踏まえ、当地で生活する異邦人として、ラマダン期間中の節度ある行動を心がけるようお願いする。

昨年の当地のテロ情勢について。過去に、欧米資本（欧米人が多く集まるホテル、ナイトクラブ、大使館等）を標的としたテロ事件を複数起こした、ジェマー・イスラミアという組織（アルカイダ系）が昨年6月に最高幹部らが集まって解散宣言というものを行い、昨年12月には、国家警察の長官も集まった大規模な解散イベントを改めて行ったが、解散宣言に従わない構成員や支持者による、テロ行為は引き続き当国治安当局が警戒しており、また、パレスチナのガザ情勢等も踏まえ、信仰心が強い人達が誤った方向に向かうリスクを警戒しているところである。かねてより報告している、インドネシアにおける近年のテロ事件の傾向として、警察署等の治安関係施設、あるいは宗教関係施設が標的になることが多く、世界的には特にヨーロッパ等において、不特定多数の人が集まる観光施設やイベント施設、公共交通機関、外国人の方が多く集まるようなレストラン、ホテル、ショッピングモール、ナイトクラブ等が標的とされることが多いため、これらの場所を訪れる際には、特にラマダン期間中は周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したらその場から離れることや、可能な限り滞在時間を短くしていただく等の対策を取るようお願いしたい。

4. 邦人に関わる最近の事件・事故報告

（大使館警備班 書記官）

盗難被害2件について。

1件目は2月12日の午前5時頃、大使館からも近い、サリパンパシフィックホテルの近くで、邦人旅行者がiPhoneのひったくり被害に遭い、その際、バイクと接触し、足と手首を負傷した。

2件目は2月28日の午前0時半頃、モナス付近で、邦人旅行者がバイク乗車のインドネシア人男性2人組による手荷物の強盗被害にあった。

ラマダンやレバランの期間中はひったくりやスリ、置き引き等の窃盗犯罪が増加する傾向にある。また、レバラン休暇で長期間家を空ける場合は、戸締まりや貴重品の管理等、普段以上に防犯安全対策を講じていただくようお願いしたい。

5. 質疑応答、各社・団体からの報告等

（企業）

特段の報告事項はなし。

（企業）

特段の報告事項はなし。

(企業)

特段の報告事項はなし。

(JJC)

特段の報告事項はなし。

(JICA)

特段の報告事項はなし。

(国際交流基金)

日本語パートナーズ38名が明後日帰国する。

(JETRO)

特段の報告事項はなし。

(ジャカルタ日本人学校)

3月13日に幼稚部の卒園式、15日に小中学部の卒業式を予定しており、3月18日に27名の教員が離任する。その後、年度末経理に入り、4月11日に入学式、始業式を行う予定である。

6. その他

(大使館領事部長)

在留届の提出をご励行いただきたい。この時期は離着任が多くなる時期でもあるため、変更があれば届出の提出をお願いする。各会社の方でもリマインドの程お願いしたい。

2025年旅券について、3月24日から新型旅券が日本国内で作成されることになる。これまで当館で作成していたものと比べ、新旅券がお手元に届くまでおよそ2

週間から3週間の日数がかかることを見込まれているため、新旅券を申請になる際は、手続きや帰国のタイミング、海外出張のタイミング等のスケジュールをよく勘案した上で、申請のタイミングを計っていただければと思う。

次回は4月15日（火）に開催予定。

以上